

カリキュラム・ポリシー

学位授与の方針に示した能力を獲得できるよう、看護の専門性と固有の価値を発揮し、地域包括ケアの視点で、あらゆるライフスパンや健康レベルの人々を途切れなく看護(ケア)するための基礎的能力を養う看護学士課程として、生涯学び続ける基礎を育む「学修の基盤」、看護のパラダイムである「人間」「環境」「健康・看護」で編成します。

「人間」は「人間学」「コミュニケーション」「生活行動」をコンセプトとした科目を配置します。「環境」は「外部環境」「内部環境」をコンセプトとした科目を配置します。「健康・看護」は、「固有の価値」「管理」「広域」「生活行動」をコンセプトとした科目を配置します。また、看護学の学問基盤形成のための一般教養としての諸科学は「人間」「環境」の科目群として編成します。

学習した知識を関連づけながら、実践に応用していく能力を得るための本教育課程では、専門職業人・看護学士としての教育を主体的実践的な教授方法を重視し展開します。

「学修の基盤」はDP(ディプロマ・ポリシー 以下DP)1及びDP2に示した能力を修得できるよう配置し、4年間を通して生涯学び続ける基礎を育むためゼミ形式で積み上げていきます。

看護のパラダイムである「人間」の概念を基盤とした「人間学」では、看護としての人間のとらえ方である統合体としてとらえる科目群を配置します。また、「生活行動」では、看護の専門性である生活行動を支援するための生物体、生活体としての人の成り立ちを理解する科目を配置し、DP3に示した能力を修得できるよう編成します。

人間の内部環境と外部環境の相互作用によって人間の健康レベルは変化します。さらに、健康レベルは生活行動の依存度と相互に影響を及ぼします。よって、「内部環境」「外部環境」では、統合体である人間にとつての環境について理解し、人々の健康レベルと生活行動への影響を思考する基盤となる科目を配置し、DP3に示した能力を修得できるよう編成します。

「コミュニケーション」では、自分とは異なる多様な背景について理解するための科目を配置し、DP4に示した能力を修得できるよう編成します。

「固有の価値」「生活行動」では、職業倫理と人権擁護に関わる能力を培うための科目を配置し、DP5に示した能力を修得できるよう編成します。

「健康・看護」の「生活行動」「広域」「管理」「固有の価値」は、看護固有の価値を基盤に、看護の専門性である生活行動への看護について、あらゆる場、あらゆるライフスパン、あらゆる健康障害・段階であっても、途切れない看護実践ができる思考と実践能力を修得するための科目を配置し、DP6に示した能力を修得できるよう編成します。